

野洲市都市計画マスタープラン

篠原地域 タウンミーティング

令和2年9月6日



野洲市都市計画マスタープラン の概要



都市計画マスタープランとは

- 都市計画法（第18条の2）に基づいて定める「市町村の都市計画に関する基本的な方針」となる計画です。
- 市町村が、その創意工夫のもとに**市民の意見を反映して、都市の将来のあるべき姿や都市づくりの方向性**を定めるものです。
- 都市計画では、**土地利用の規制・誘導や道路・公園などの都市施設の整備**などを進めますが、これらは都市計画マスタープランに即して行う必要があります。



計画改訂の趣旨

- 野洲市の都市計画マスタープランは、旧野洲町と旧中主町のまちづくりを受け継ぎ、平成19年に策定されました。その後、令和2年を目標年次として、平成25年に改訂を行いました。
- 目標年次を迎えるにあたり、将来の人口や社会・経済情勢の見通しに的確に対応し、**持続可能な都市づくりを目指し、計画の見直しを行う**ものです。

計画の目標年次



都市計画マスタープランの構成



都市の現況と課題

本市の都市づくりを取り巻く社会経済動向を整理した上で、都市づくりに関する現況を分析し、今後の課題について導出しています。



全体構想

今後の都市づくりにおける基本理念や将来都市像、将来目標を導出し、将来の都市構造を図示しています。また、今後の都市づくりについて分野ごとに整備方針を掲げています。



地域別構想

地域別に都市づくりの目標や整備方針を掲げています。



実現化に向けて

前章までの都市づくりの整備方針に対する実現化方策について掲げています。



都市計画マスタープラン

全体構想（案）

将来都市像

活力ある都市と豊かな自然が調和したにぎわいとやすらぎのあるまち

都市づくりの目標

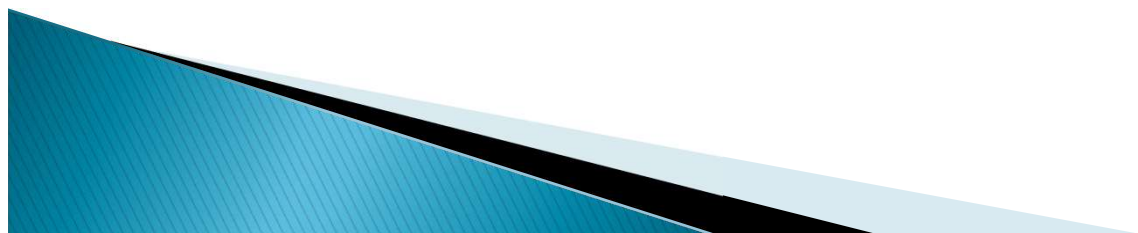
目標 1 拠点の都市機能集約と歩行空間の改善による賑わい強化

目標 2 安全で利便性の高い居住環境づくり

目標 3 田園集落における地域活力の維持向上に向けたまちづくり

目標 4 都市の安全を高める防災基盤の強化

目標 5 豊かな自然環境の保全と身近に自然を感じられる都市の形成



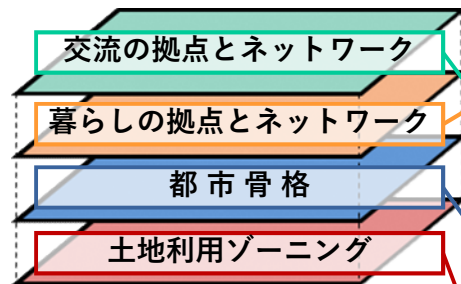
都市計画マスタープラン

全体構想（案）

将来都市構造
(20~30年後)

将来の都市構造

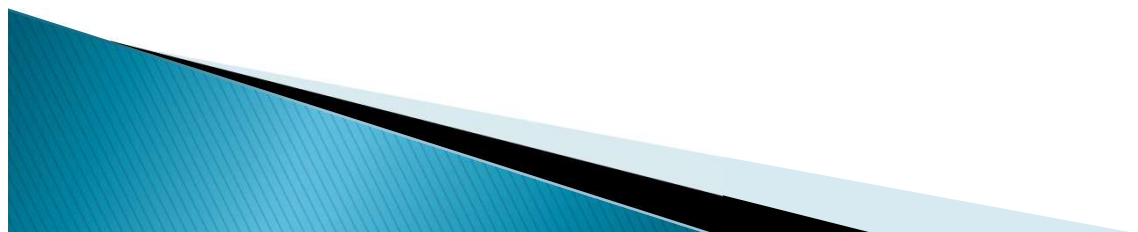
- ・ 4つの層（レイヤー）を重ねて構成



- 中心拠点
(JR野洲駅周辺)
- 地域拠点
(北部合同庁舎周辺)
- 地域拠点
(新たな拠点)
- 自然環境交流拠点
- 交流連携軸
- 広域連携軸
- 都市間連携軸
- まちなか居住ゾーン
- 一般居住ゾーン
- 工業ゾーン
- 田園集落ゾーン
- 自然環境ゾーン
- 鉄道・駅



野洲市都市計画マスタープラン 【地域別構想 見直し案】

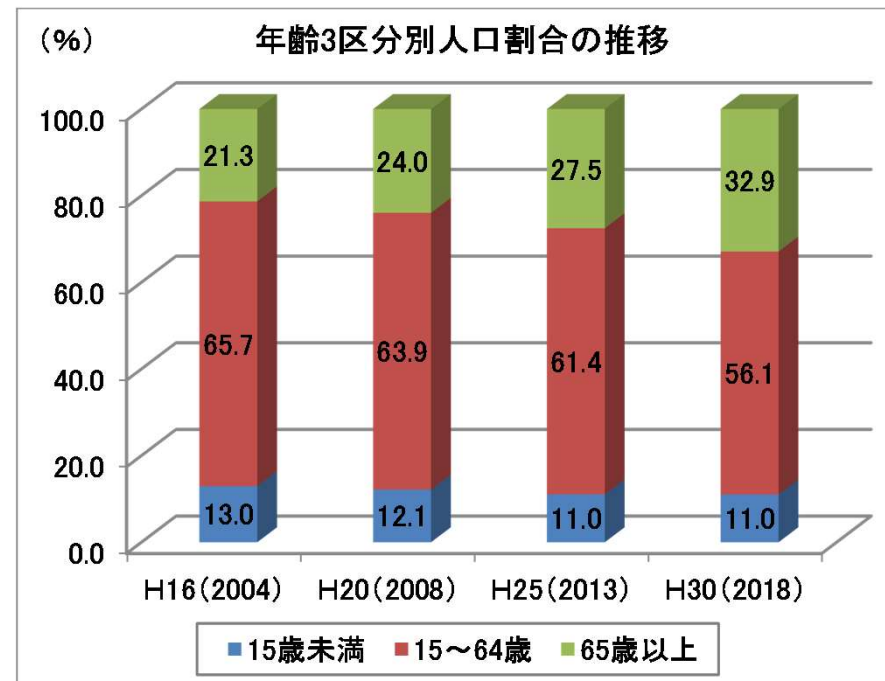
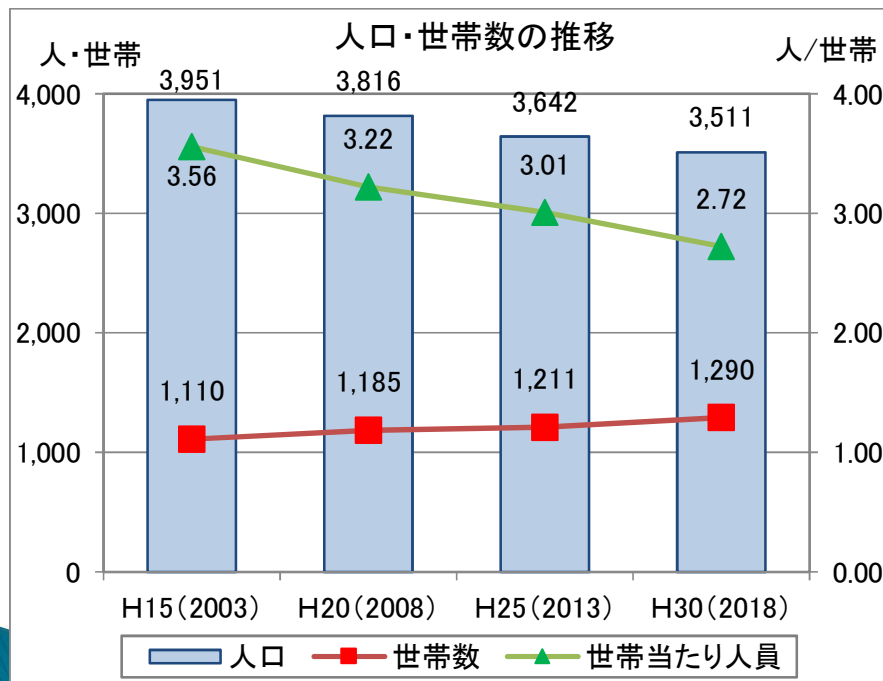


篠原地域の概況



(1) 人口動向

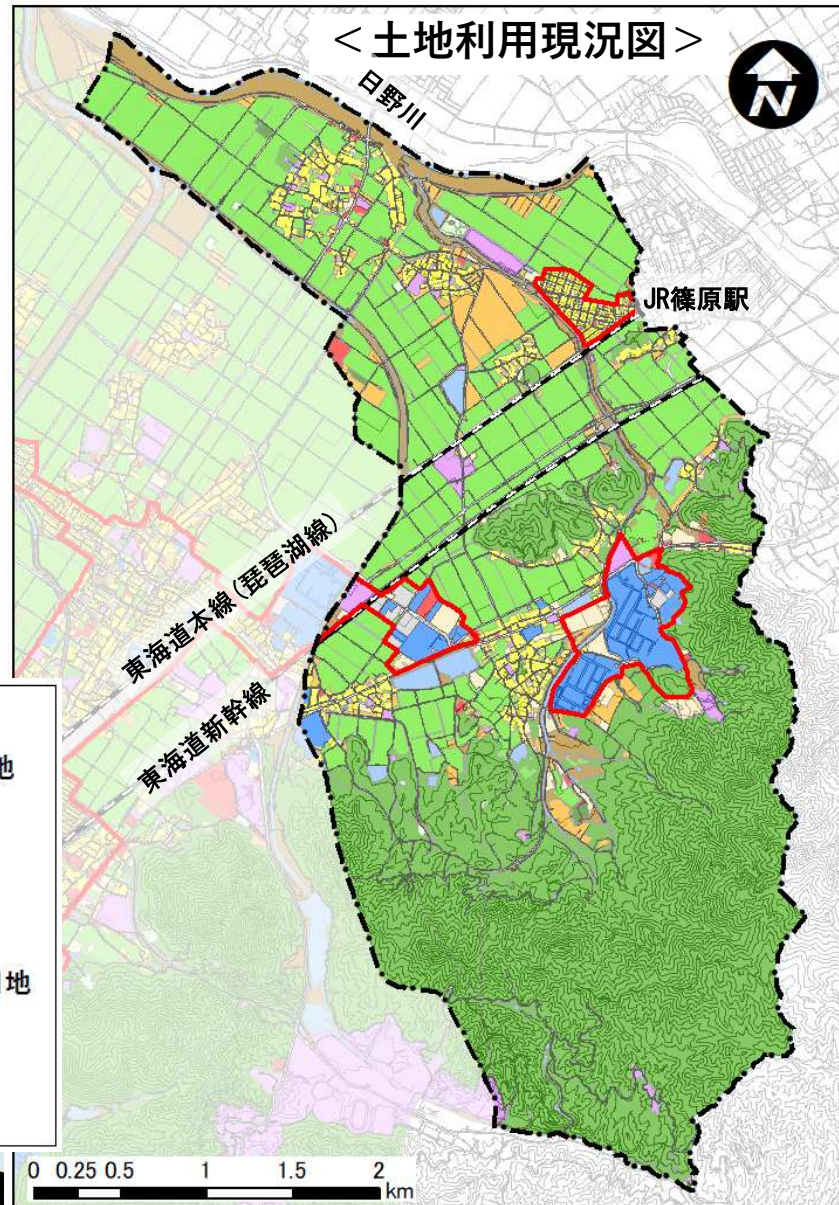
- 人口は減少傾向が続いており、今後も人口減少が続くと予測されています。
- 高齢化率は年々増加しており、他の地域に比べて高い状況が続いています。



(資料：住民基本台帳)

(2) 土地利用の状況

- 山林が地域南部に、田や畑が地域北部にまとまって分布しています。

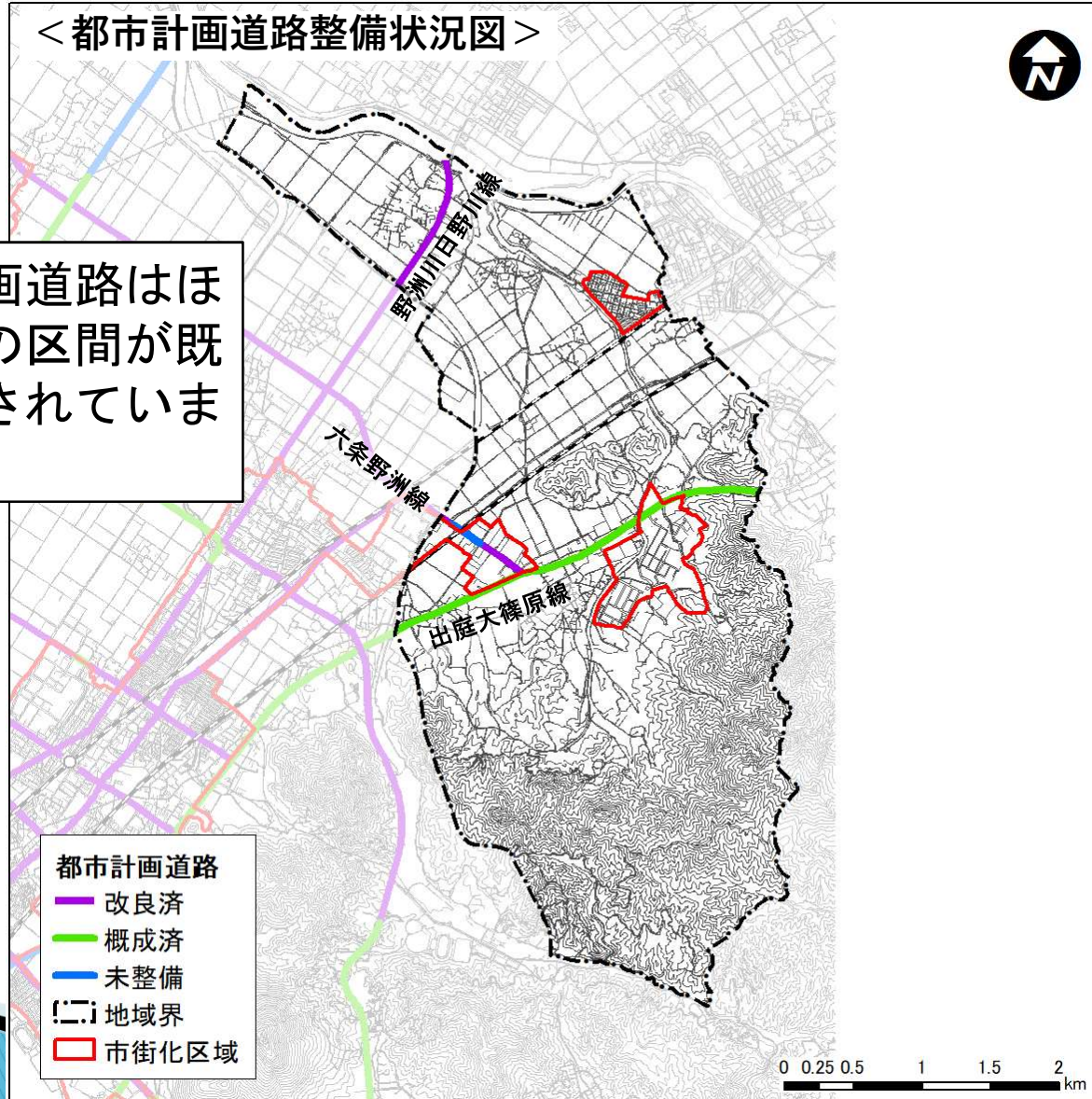


(資料：都市計画基礎調査)

(3) 都市計画道路の状況

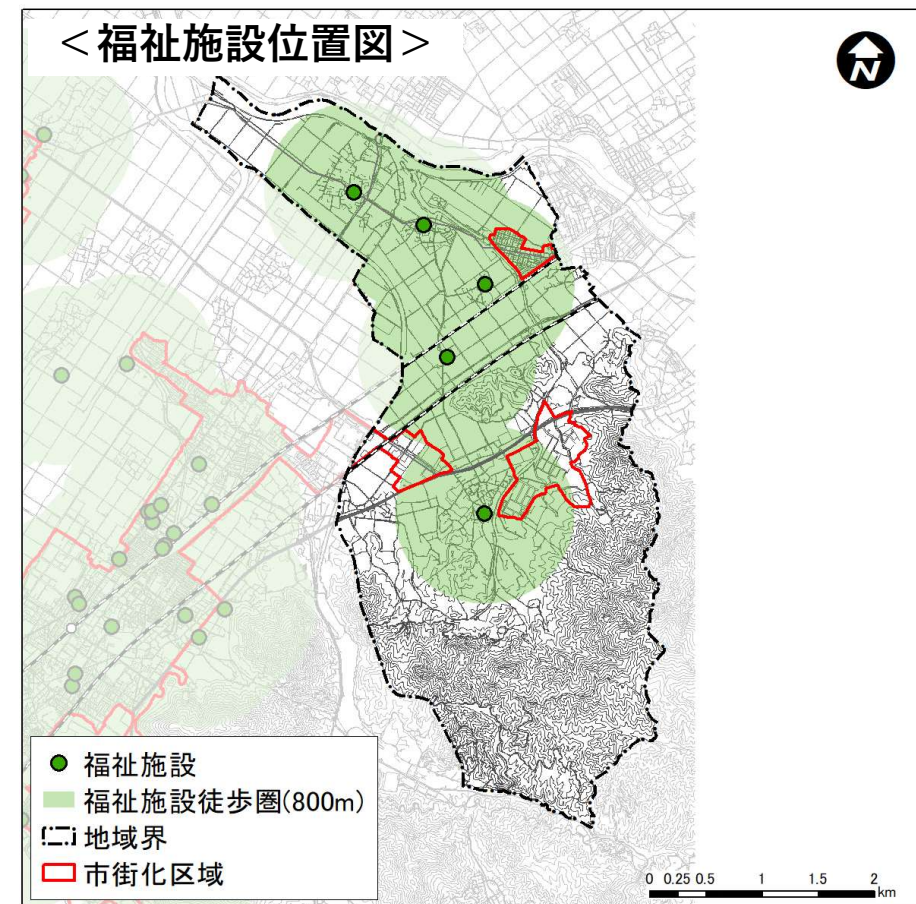
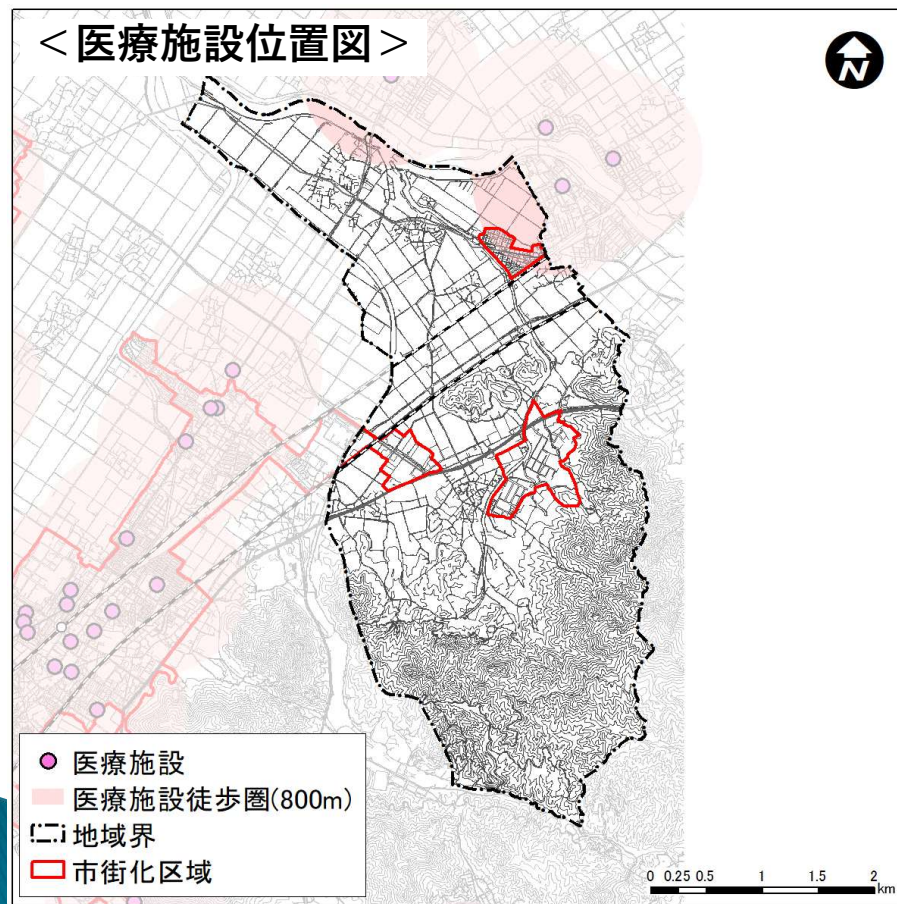
< 都市計画道路整備状況図 >

- 都市計画道路はほとんどの区間が既に整備されています。



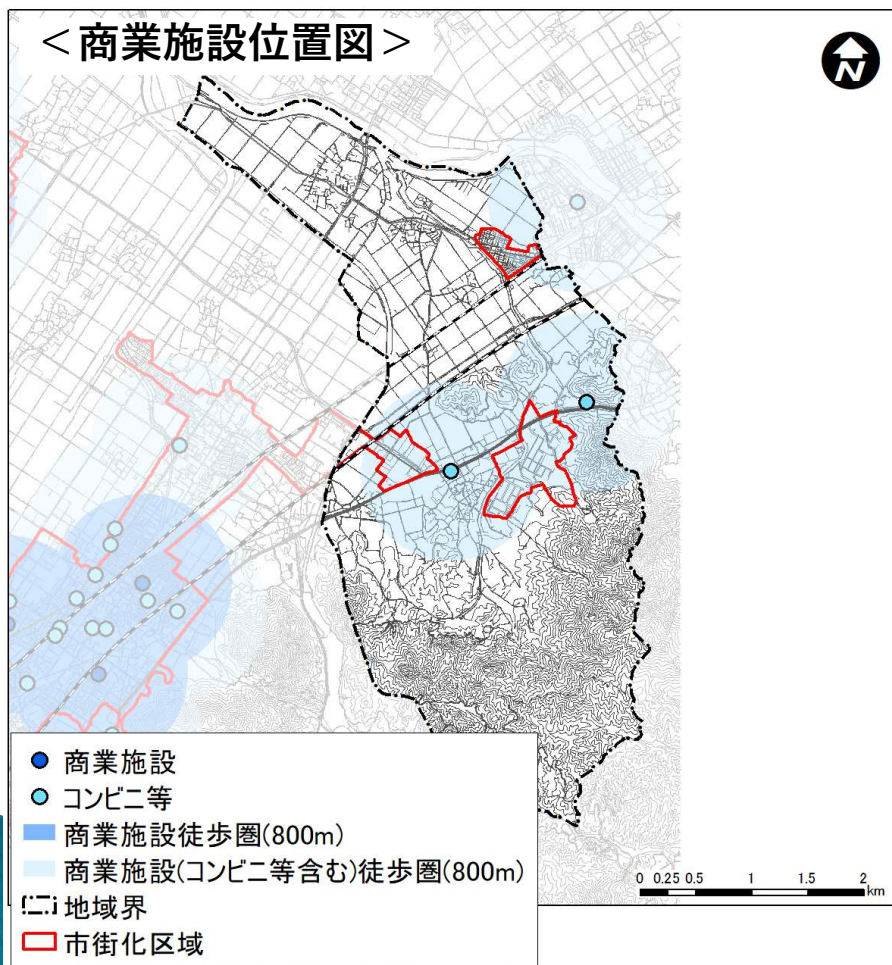
(4) 生活利便施設の分布

- 地域内には福祉施設は点在していますが、医療施設は立地していません。

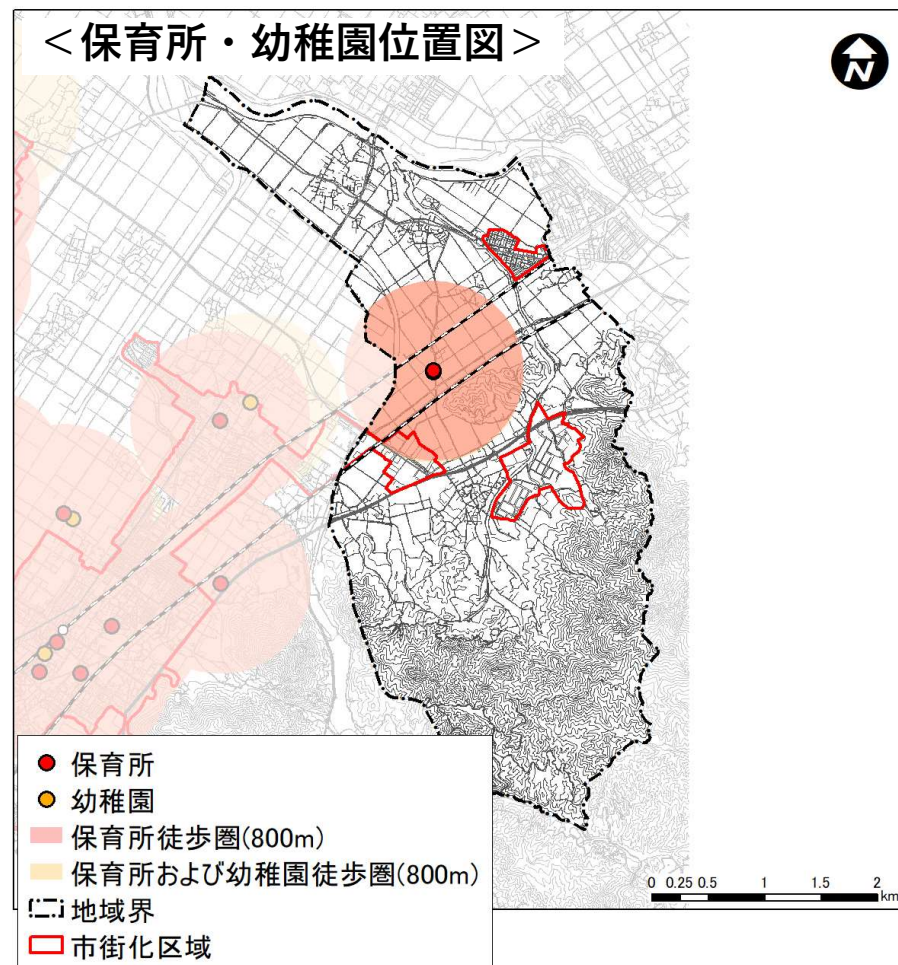


- コンビニ等が国道8号沿道に立地しています。
- 保育所は、地域のほぼ中央に1施設立地しています。

< 商業施設位置図 >



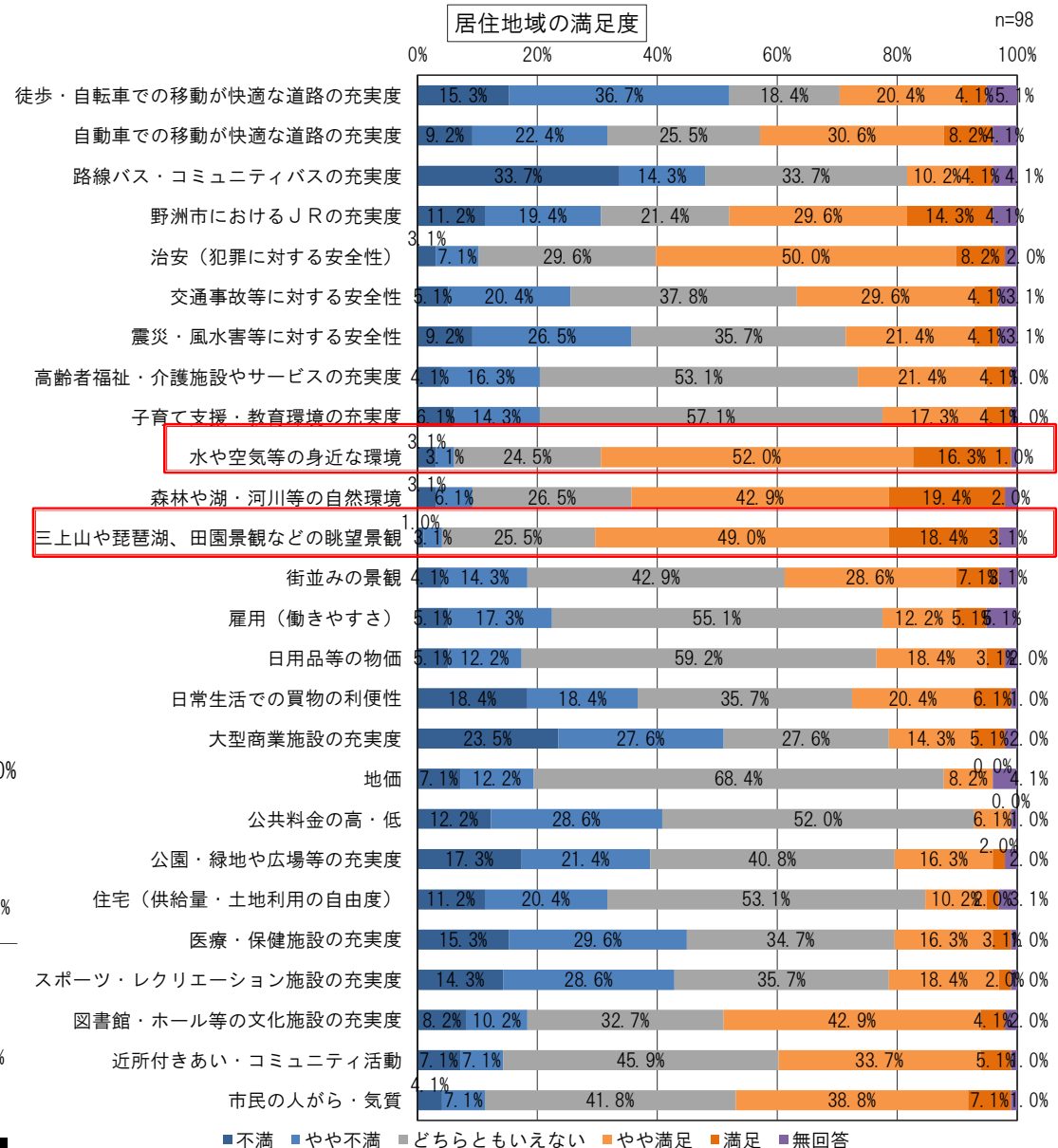
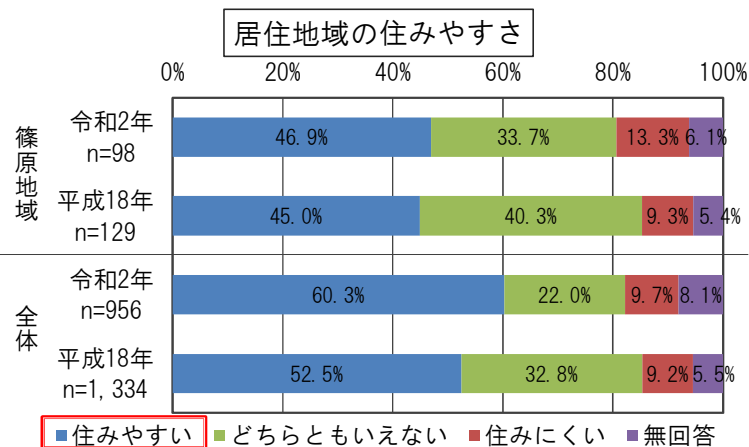
< 保育所・幼稚園位置図 >



（５）住民意向（市民アンケート結果）

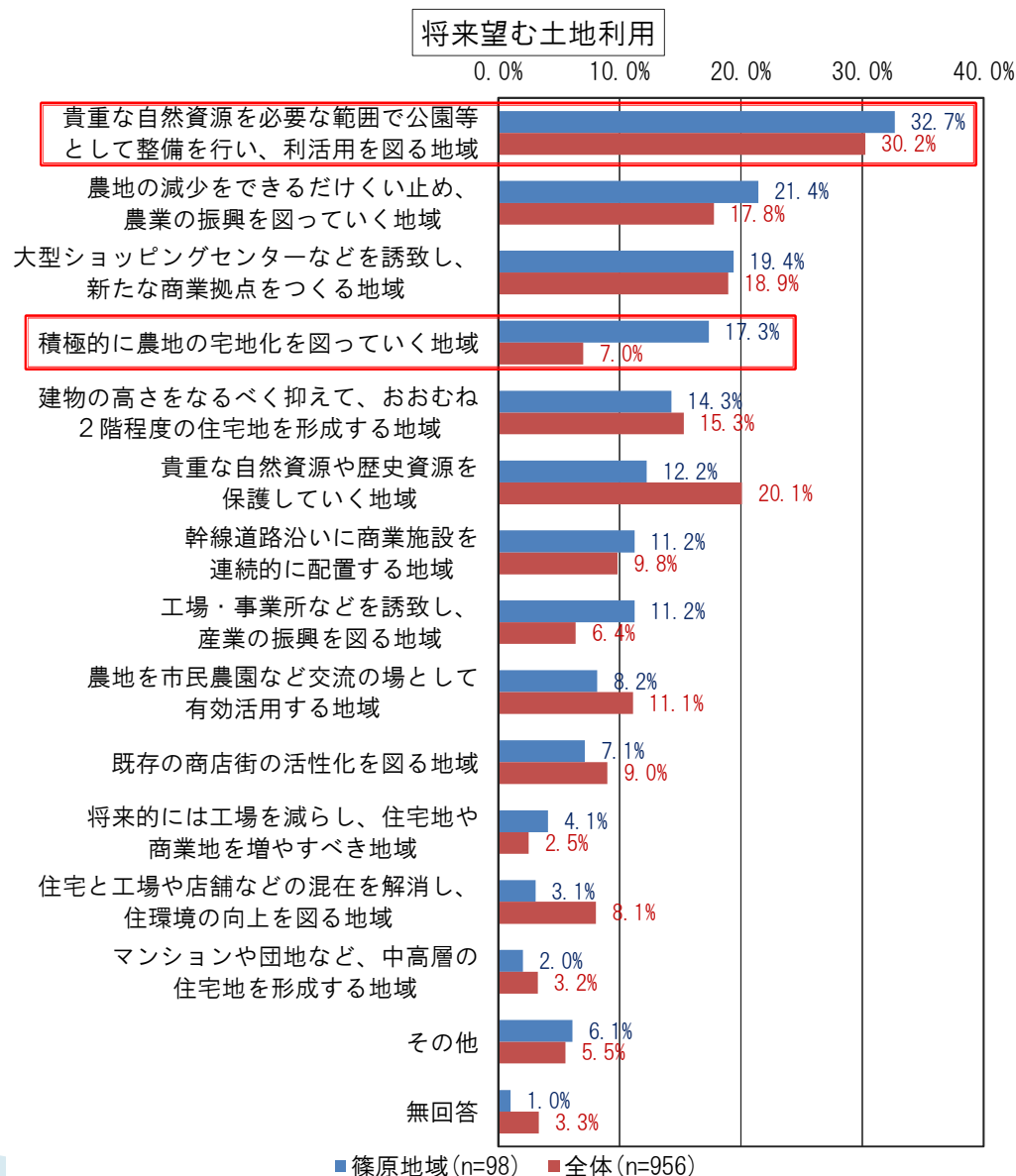
①地域の 住みやすさ

- 篠原地域が住みやすいと感じる人は50%に満たず、平成18年調査に比べても大きく変わりません。また、他地域と比べると低い割合となっています。
- 居住地域の満足度として、眺望・景観や身近な環境への満足度が非常に高くなっています。



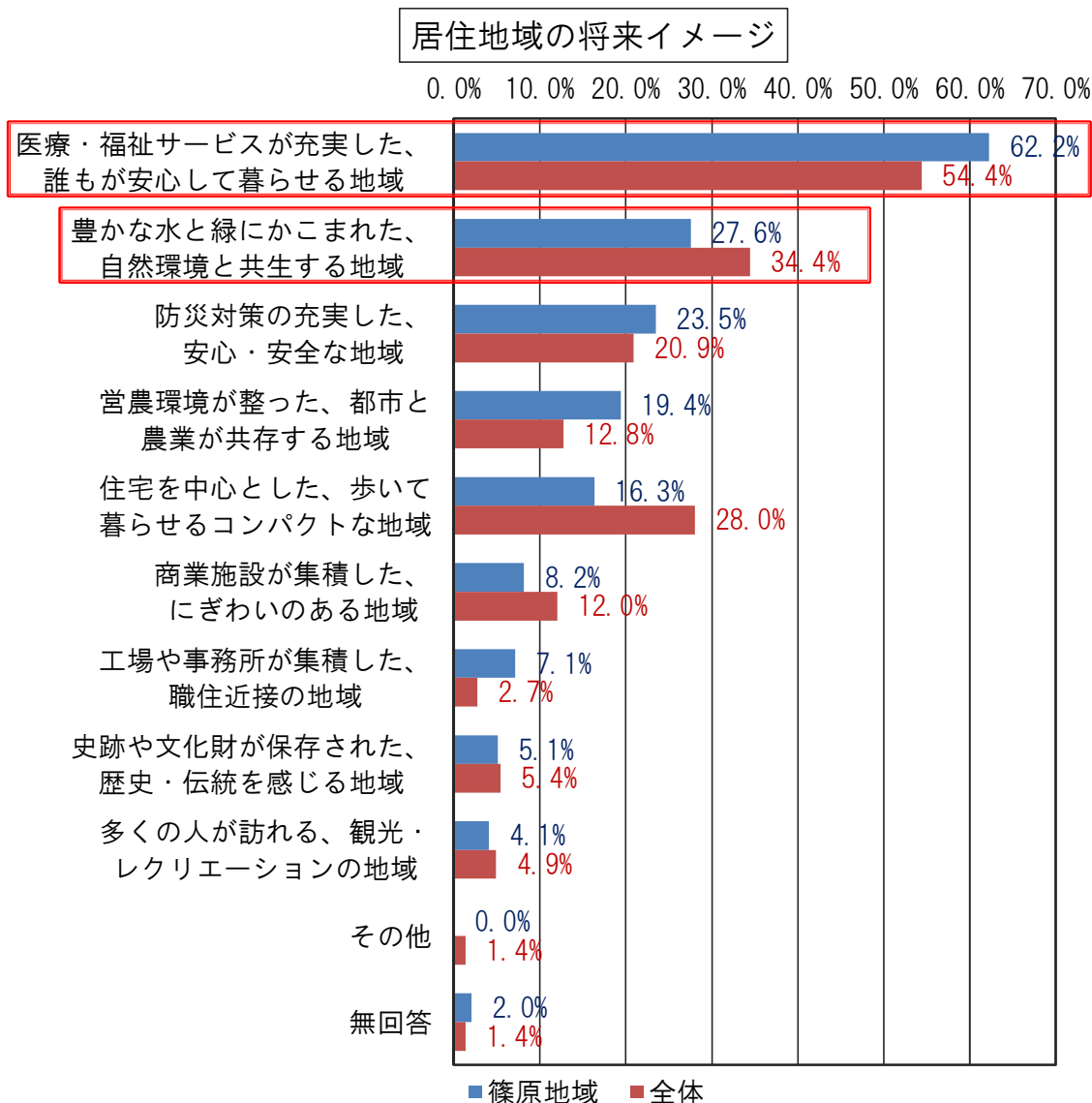
②将来望む土地利用

- 「貴重な自然資源を必要な範囲で公園や緑地として整備を行い、余暇活動の場として利活用を図る地域」を望む人が最も多くなっています。
- 「積極的に農地の宅地化を図っていく地域」を望む人の割合が、市全体と比べて高くなっています。



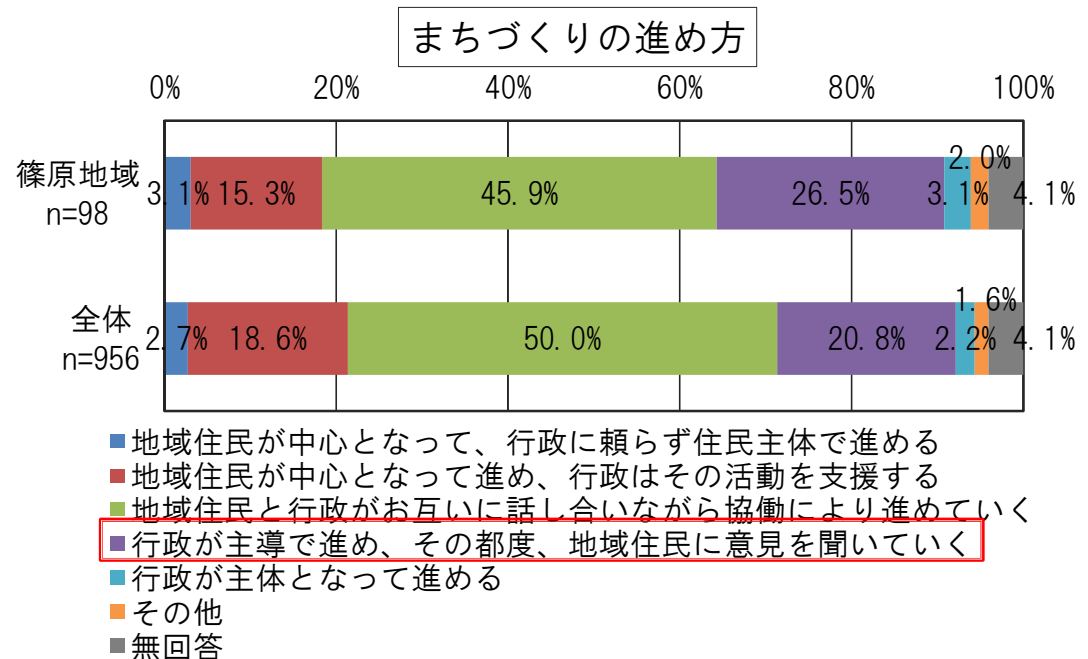
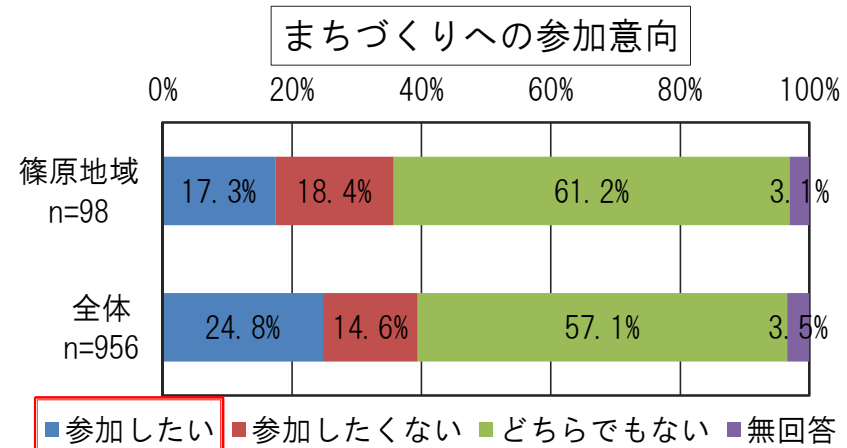
③篠原地域の将来イメージ

- 「医療・福祉サービスが充実した、誰もが安心して暮らせる地域」と考える人が最も多くなっています。
- 「豊かな水と緑にかこまれた、自然環境と共生する地域」や「住宅を中心とした、歩いて暮らせるコンパクトな地域」と考える人の割合が、市全体と比べて低くなっています。



④まちづくりへの関わりについて

- まちづくりに「参加したい」と思う人の割合は、市全体に比べ低い割合となっています。
- まちづくりの進め方については、「行政が主導で進め、その都度、地域住民に意見を聞いていく」ことが望ましいと思う人の割合が、市全体に比べ高くなっています。



地域別構想(骨子案)

地域の将来像

**都市と農村とが共存し、
自然にかこまれ、快適で過ごしやすいまち**

都市づくりの目標

目標 1

J R篠原駅とのアクセスを強化し、利便性の高い地域づくりを進めます

目標 2

集落地と農地からなる田園環境の維持に努めます

目標 3

優れた自然環境の保全・育成に努めます



篠原地域のまちづくり方針図 (案)



日野川の水辺景観の保全

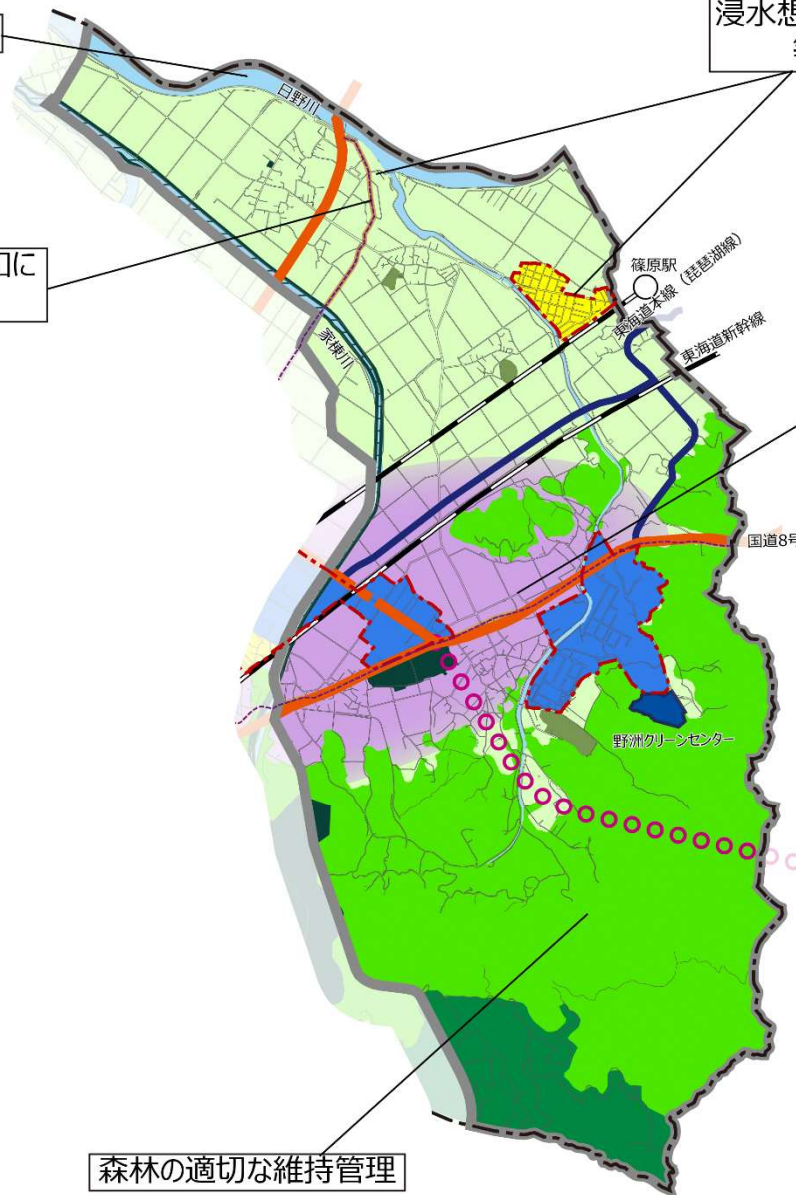
浸水想定区域や避難場所
等の周知徹底

歴史街道と集落地との調和に
配慮した景観形成

既存工業地周辺における
面的整備等の検討

森林の適切な維持管理

- 住宅地
 - 中心商業地
 - 沿道商業地
 - 工業地
 - 農地・集落地
 - 森林
 - 河川（水辺）
 - 都市計画公園
 - 都市計画緑地
 - その他の公園
 - 主な神社の樹林地
 - 住居系拡大市街地圏域
 - 産業系拡大市街地圏域
 - 都市計画道路〔改良済・概成済〕
 - 都市計画道路〔未整備〕
 - 幹線道路〔構想中〕
 - 主要な道路
 - 旧街道
 - 旧街道沿道
 - 市街化区域
 - 地域境界
- 0 0.5 1 2 km



説明は以上です。

より良い地域づくりを目指して
活発な意見交換をお願いします。

